



瑞五の子

令和3年 4月 6日
学校だより 第 1号
瑞穂町立瑞穂第五小学校
校長 南方 孝之

入学・進級おめでとうございます

校長 南方 孝之



肌に心地よい風が吹くたびに、桜の花びらが舞い落ち、美しく輝いて見えます。お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日、28名の1年生を迎え、全校児童221名で、令和3年度の瑞穂第五小学校の教育活動がスタートしました。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、4・5月の臨時休校、行事の中止や延期、夏休みの短縮など、教育活動の変更を余儀なくされた一年となりました。そんな中、六道山への散策や季節ごとの自然観察等、五小の周りにおける豊かな自然を生かした「みずほ学」を積極的に実践するなど、制約のある中でもできる限りの教育活動を行ってきました。

今年度もまた、コロナ禍でのスタートとなりました。まずは、感染防止対策をしっかりと行い、子供たちが安心・安全に学べる学校づくりを推進してまいります。そして、本校の課題であり、瑞穂町の課題である「学力向上」を常に意識し、子供たちの確かな学力の定着及び豊かな心の育成を目指し、今年度の教育活動を行ってまいります。

本校では、「生きる力」の育成に向け、生涯を通じて主体的に学ぶことの基礎を培う観点から、知・徳・体にわたって調和のとれた子供を育てるために、次のような教育目標を定めています。

◎自ら学ぶ子（知・体） ○思いやりのある子（徳） ○最後までやりぬく子（知・徳・体）

この目標を達成するため、授業ではもちろんのこと、休み時間・行事など、あらゆる教育活動を通じて、子供の「生きる力」を伸ばす教育を推進していきます。また、これまで同様「地域の中の学校」を意識して、ふるさと学習「みずほ学」を基礎に、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる子供の育成を目指します。

校長として目指す学校像は、『元気いっぱい 笑顔あふれる みんなの学校』です。「勉強が楽しい」「みんなが友達」「教室に入るとホッとする」そんな想いを一人一人の子供が抱けるよう、教職員一同、尽力いたします。そして、教師一人一人が「わかる授業」「いじめのない学級」「子供とのよりよい信頼関係」を目指し、努力してまいります。

もう一つの願いは、“安心・安全な学校づくり”です。学校では、大切なお子様をお預かりしています。子供たちの命をしっかりと守り、保護者の皆様が安心して家を送り出すことができるよう、信頼される学校づくりに努めます。そのためには、校内での教育活動はもちろんのこと、校外での学習や地域での登下校など、保護者・地域の皆様の見守りやご支援が欠かせません。今年度も引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大という恐怖と不安の中、子供たちの歓声と笑顔は一時の安らぎを与えてくれます。未だに収束を見せない状況ではありますが、今できる最善の策を講じながら、皆さんと共に前に進んでいきたいと思っております。学校と家庭と地域が手を取り合いながら、元気で明るい「瑞五の子」を育てていきましょう。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。